



爆豪さん

あゝあの
電話なつて
ましたよ

お仕事中に
声かけるのも
あれかなつて
スイマセン

このタイミング！
どうせまた
あいつだろ！



だが

あ





会いたかった!

かつちゃん

学生の頃と 同じように ひよろっちい身体のくせに



ほんの少し 俺より 背が高くなりやがったことと

お疲れ様
手伝つてあげれ
なくてごめんね

今日は…

週末にこんな
時間までがんば
つてたんだよね



メシ食いに
行くんだろ
行くぞコラ

腹減った!

わっ

って…

俺がこいつを 好きだ と思うようになったことが



やっぱり ほんの少し 悔しいと思う

今日の事件
テレビで見たよ

すごいね
かっちゃん

たった一人で
あんな大量の敵
相手にして

普通他社か
サイドキックと
連携するのに

しないの？

くだんねえ
手助けなんか
いるかよ

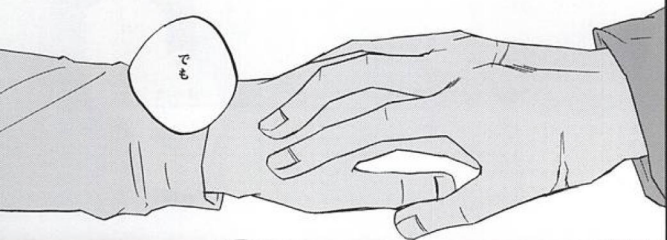
お前ホント
解ってねえな

俺と組んで
やっつける奴なんて
いるわけねえし

誰かいても
暴れんのに
邪魔なんだよ

あはは

ハッキリ
言うなあ
かつちゃんは





ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

おいっ
まだ玄関
ちよっと
待て!

クソ…デカク
なったなコイツ

こら!
聞いてんのか
デク!

ガッ



…

びん
びん
びん

嫌?



かっちゃん





えっ
かっちゃん
帰っちゃうの？



誰が泊まるって
言ったクソが

明日だって
早いんだよ
俺は
帰るからな
今すぐ
帰る！



かっちゃん！

わっ



えーやだやだ
かっちゃん
まだちょっと
しか一緒に
居てないって

……るせえ



おねがい

置いてかないで
僕とだけは
一緒にいて
かつちゃん

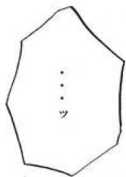
こんな時だけ 都合よく俺を見上げてくる日が



あの頃と あの頃の 俺の気持ちを思い出す



僕の力で
君をこえる



ああ そして

お前こそ…

俺は今日も きっと
こいつに負けてしまう

